

ブドウを加害するアザミウマ類 の発生調査

京都府京都乙訓農業改良普及センター

アザミウマ類とは

- 確認されているだけでも200種類以上
- 体長1～2mm程度で細長い
- 翅のある種と無い種がある
- 花や葉の付け根など見にくい場所を好む
- 葉から落下して土中で蛹になります
- 大多数は夏の暑さを好み、この時期は短期間で世代交代を繰り返す



チャノキイロアザミウマ



ネギアザミウマ

ブドウの被害



果皮の被害



軸の被害

調査方法



黄色粘着板設置
(発生消長(数の調査))

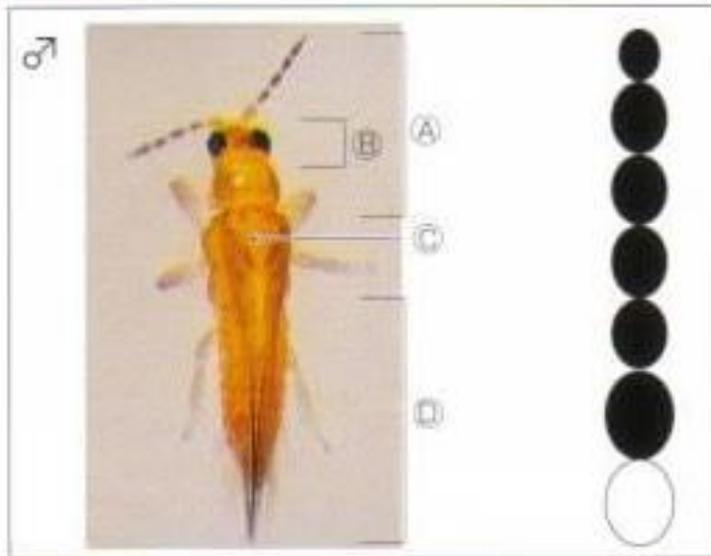


たたき落とし法
(種類別割合の調査)

アザミウマの判別方法

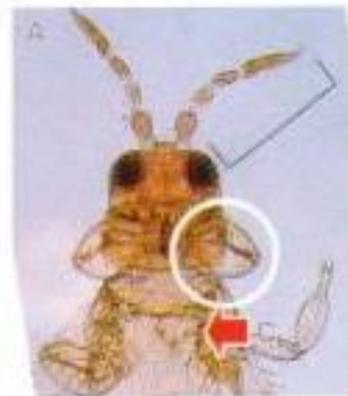
(鹿児島県病害虫防除所)

チャノキイロアザミウマ (*Scirtothrips dorsalis* Hooov)

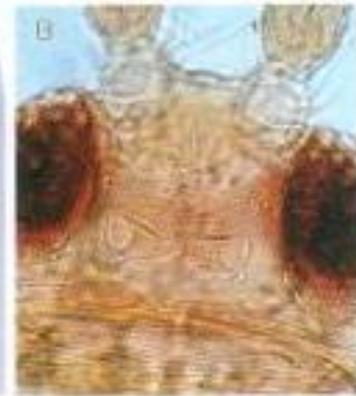


前脚は均一な灰色

触角は9節



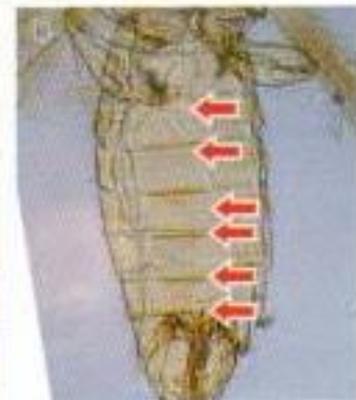
触角第1節は黄色、2～8節は
灰褐色。
前胸背板の前縁に長刺毛がない。



頭部は幅が広く、横条刻線で
覆われる。



後胸背板に鐘状感覚器がない。



腹部第3～8背板前縁には
褐色の横縞がある。

(形態) 雌成虫: 0.8～1.0mm

雄成虫: 0.7～0.8mm

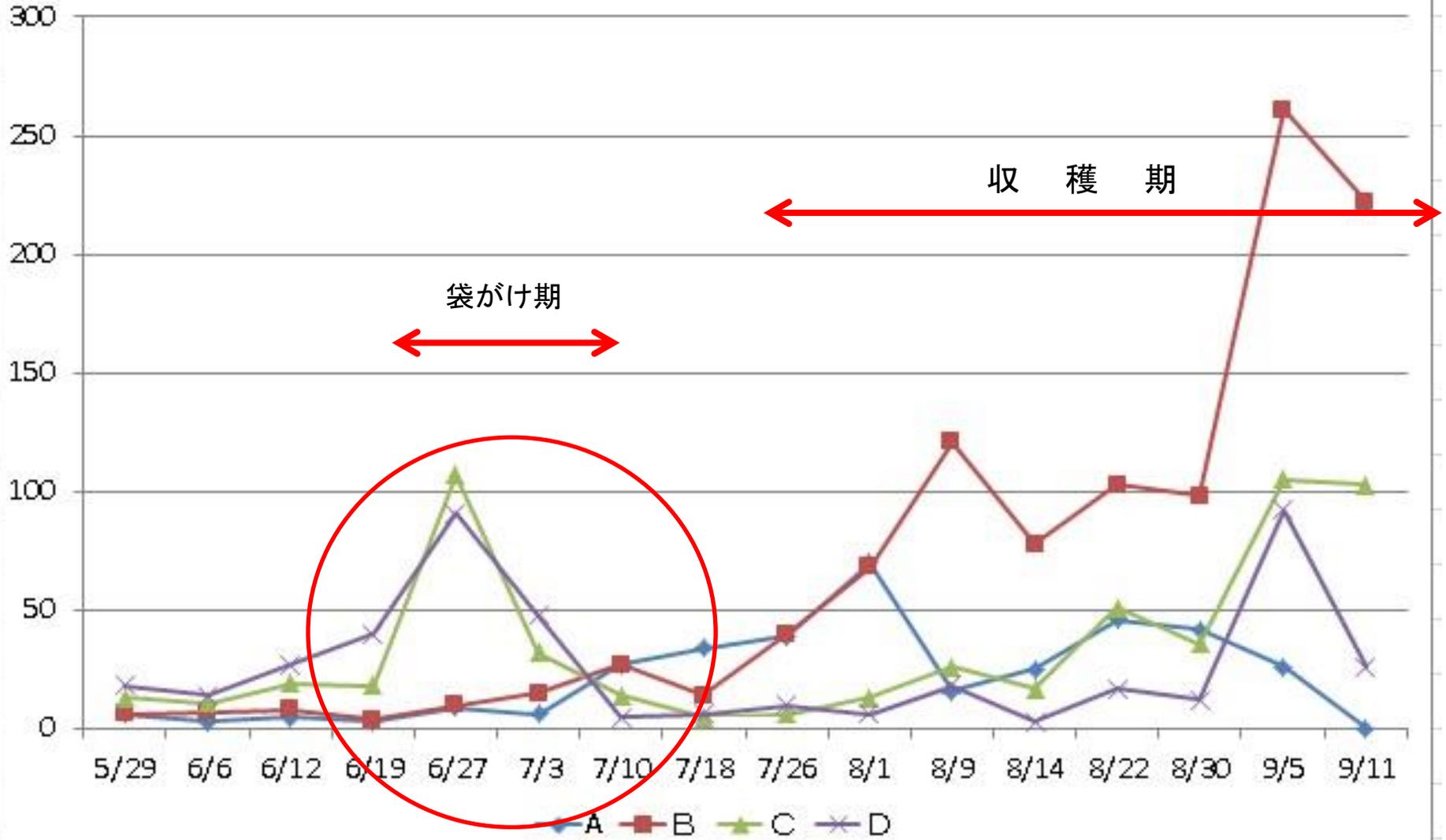
(被害) 葉: 硬化、褐変

果実: 灰白色斑

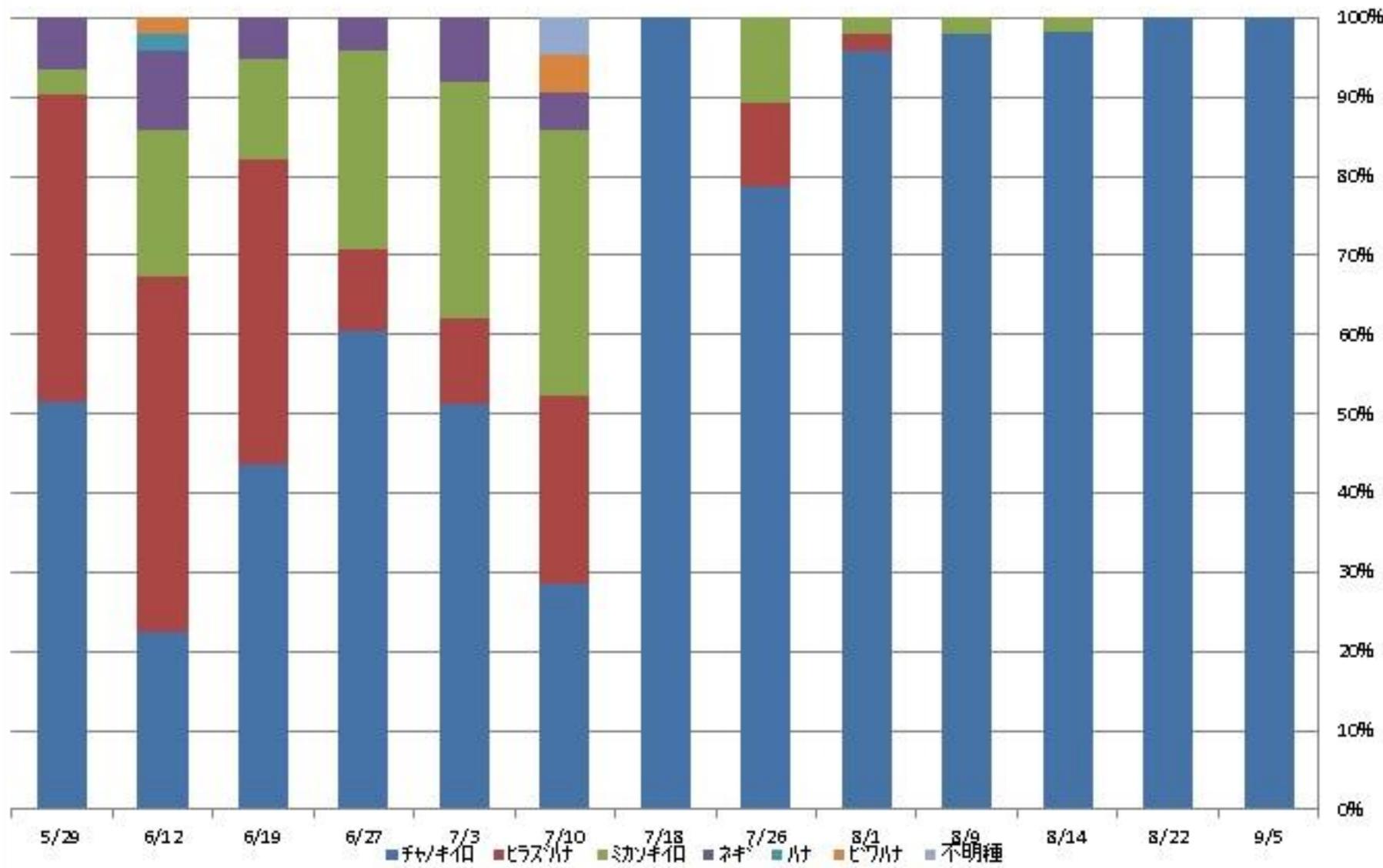
(防除必携掲載品目)

イチゴ、カンキツ、ブドウ、マンゴー、チャ

アザミウマの発生消長 ～ほ場比較～



アザミウマの種類別割合推移



調査結果

①発生消長(アザミウマの数)

袋かけ前に薬剤防除等を行っていると増えにくい。8月以降に急激に増加した事例が1件見られたが、整枝管理が影響していたと思われる。

②種類別推移

調査開始からチャノキイロアザミウマの割合が多かったが、8月に入ってからには圧倒的な割合を占める結果となった。

以上のことから、

- ・ 袋かけ前に適期防除を行いアザミウマの絶対数を減らすと効果があると考えられる
- ・ 袋かけ後に適切な整枝管理を行うとさらに効果があると思われる

活動の成果

11月28日(火)

勸修寺樹園地組合ブドウ部会研修会にて結果を報告

袋かけ前にアザミウマに有効な農薬を適期防除し絶対数を減らすことが大切であることを部会員の皆さんと確認しました。

今後は、

- ①袋かけ前に薬剤による適期防除を行う
- ②袋かけ期以降で収穫期に入ってからでも実施できる薬剤以外で有効な防除方法を探す

など、勸修寺ブドウ部会と協力して対応することと
しています